

◎本校のビジョン(目指す子どもたちの姿)

「豊かな人間性とたくましい実践力を身につけた子ども」

◎本校職員のミッション(ビジョン達成のための使命・道筋)

「一人一人が『自分らしく』『一生懸命』勉強し、『力をつける』三階小学校を創る」

少し前になりますが、7/10(金)の県立大学爆破・近隣バス停襲撃予告に伴い、関係の皆様にはご心配をおかけしました。とにかく**子どもたちも、皆様も、無事で何より**でした。しかし、新型コロナウイルス感染症対策に注力している最中の出来事に、戸惑いと憤りを覚えたのは、私一人ではないと思います。予告日の前後にわたり、児童の見守りや送迎にご協力いただいた保護者、地域、見守り隊、市教育委員会職員、各学校職員他、全ての関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

一方で、新型コロナウイルス感染症流行の再拡大が懸念されます。三階小では、感染防止の基本である手洗いや熱中症に配慮したマスクの着用等、引き続き徹底していきたいと思います。

さて、今回の学校だよりでは、主に「**キャリア・パスポート**」についてお話しします。**長文になりますが、どうかお付き合い下さいませ。**

## キャリア・パスポートってご存じですか？

校長 松本 潔

運動会スローガンについて  
運営委員会  
みんなから出たキーワード  
○星けん命 全が 本気 かつよく がんばる  
○一丸 チームワーク 協が 助け合い  
○楽しい なかよく ともに  
○負けるな 元気に  
このキーワードから 運営委員が 決めた スローガン  
**負けるな三階!**  
チーム一丸となって  
全気でがんばろう。

理由  
負けるな三階には、ゴロバに負けるなという意味と  
人々負けないでほしいという意味が込められており  
チーム一丸には、三階小のみんなが一つになるという  
意味と色が一つになるという意味が込められています。  
そして、チームが一つになるには楽しくなかよくともに  
していかないといけないので、チーム一丸には楽しくなかよく  
の意味もふくまれています。そして全気には  
元気がないと全気になれないので  
元気の意味もふくまれています。  
このスローガンで今年の運動  
会を成功させましょう。

### 【運動会スローガン決定「負けるな三階！ チーム一丸となって全力でがんばろう！」】

7/8(水)に**代表委員会**がありました。9/20(日)に予定している**運動会のスローガン**について、各学級から様々な意見が出ました。

様々すぎて、「まとまるのかなあ」と正直心配しましたが、6年生がそれらの意見を基に決定したのが上記のスローガンです。

決定した「理由」をご覧ください。各学級が提案したキーワードを大切にして、**すべての意見を生かし盛り込もうと**、6年生が「**すごく**」努力した様子が窺えます。

**多数意見**だけではなく、**少数意見も大切**にする。なるべく**多様な立場の人々**それぞれの**納得を目指し、最大限努力**することを「**合意形成を目指す**」といい、**民主主義の基礎基本**です。**多数決**はあくまで**最後の手段**です。

### 【「合意形成」を体験的に学ぶ「特別活動」】

三階小では、主に「**特別活動**」という**学習**で、学校での「**くらしの課題**」を見出し、**解決するために話し合い、合意形成**を図り、それぞれが役割を果たして**実践し、課題の解決を試みるという学習**をしています。代表委員会も、特

別活動の1つ(児童会活動)です。学級活動(話し合い活動)もその仲間、かつての「学級会」のことです。保護者の皆さんや地域の皆さんも、学生の頃体験しておられると思います。

【すべては、「キャリア形成」つまり「生きる力の育成」に向けて】

ところで、これら特別活動も、各教科等の学習も、一人一人の子どもたちが将来大人となった時に、日本国民としてより良く生きるために、この三階小学校で「学び」「くらす」中の教育活動です。

大人となってよりよく生きるためには、仕事さえしていればよい訳ではないことは、大人である我々なら「体験的に」わかっています。私はサッカー観戦が趣味なので例に挙げると、サッカー選手は、サッカーという仕事だけをしていればいい訳ではありません。

サッカーのための知識や技能は勿論、体づくりの基本となる栄養学の知識、チームとして勝つための同僚との良質なコミュニケーション、スポンサーとのおつきあい、社会的に認知されるための社会貢献的活動のスキル、取材に応じるときの話術や一般社会常識、外国に行くのであれば語学、個人営業主としての収入や支出の管理、引退後の生活設計、今年であれば新型コロナ感染症から身を守る衛生管理の知識や技能等々、様々な知識や技能、判断能力、人生を切り開く意思が必要です。

全国の小学校で今年度から全面実施となる学習指導要領では、このような、「職業」だけに限らない、人生をよりよく生きるために身に付けたほうが望ましい様々な力を、ひとくくりにして「キャリア」と呼び、キャリアを身に付けていくことを「キャリア形成」と呼んでいます。学校での「まなび」と「くらし」(教育活動)は、キャリア形成を図る活動(つまり「キャリア教育」)であると言い換えることもできると思います。

【学習指導要領のキャリア形成に対する考え方】

保護者の皆さんも、地域の皆さんも、もちろん私も、かつては学校での学びを基に、社会に出てから色々と体験し、失敗と成功を繰り返しながら少しずつ「キャリア」を身に付けてきたと思います。(私は失敗をかなり積み重ねた上で、今のキャリアを身に付けたという自覚があります。(苦笑))

しかし、変化が激しく、価値観も様々で、多様性に富み、以前よりはるかに複雑で多くの課題に直面する現在、子どもたちを「学校で学んだことを基に、社会に出てから、体験を通して、たくさんキャリアを身に付けてね!」と放り出し、成功も失敗も自己責任というのは、日本社会の仕組みとして無責任と言わざるを得ません。

そこで、かつての学校での学び(知識・技能等の習得)に加えて、「学んだことを自分なりにまとめる」「誰かに向けて発信する」「学んだことについて、それぞれの考えを伝えあい、結果としてお互いの考えを深める」等の学習を、すべての教育活動に盛り込みます。そして、そこで得た力を、学校での「くらし」の様々な場面に生かすという「社会体験を積む疑似体験」を通して、生涯にわたり「キャリア形成」することができる力を養い、三階小の子どもたちが社会に出ていくのに備えようというのが、今回の学習指導要領の考え方であり、三階小のグランドデザインの考え方でもあります。



←代表委員会で、6年生は、各学級から出された意見すべてを大切にしようとして、キーワードをまとめることで「合意形成」を目指しました。↓



【今年度から、「キャリア・パスポート」を記録・保存していきます】

さて、本日**島根県教委**から「つなぐ」というプリントをこの**学校だより**と同時に**お配り**します。「つなぐ」で紹介している「**キャリア・パスポート**」とは、三階小はじめ島根県の子どもたちが、学校での「学び」や「くらし」を通して身に付けた「**キャリア**」や「**キャリア形成の基礎となる力**」等を記録に残したものです。今年度から、**全国の小・中・高・特別支援学校等で取り組む**ことになりました。現在の小学校1年生以降は、中学校までなら9年間、高校までなら12年間の記録となります。

**島根県内のキャリア・パスポート**では、キャリアやキャリア形成の記録に際して、「**ふるさと島根で育んだ、キャリア形成に向けた学びの足跡**」という視点が加わります。

三階小では、キャリア・パスポートを学期毎にまとめて、**1年間の最後にお子様へのコメントを保護者の方にもお書きいただくようお願い**します。その際、お子様が1年間、どのような**キャリアやキャリア形成につながる力**を身に付けたのかについて、「**キャリアパスポート**」をご覧ください。そして、そのことが、親子でお子様の将来について、**希望をもって語り合うきっかけ**となれば幸いです。

**長文失礼しました**。ご質問等があれば、担任を通して遠慮なく申し付けてくださいませ。これからもどうかよろしくお願ひします。



↑このような表裏カラー印刷のプリントを三階小の学校だよりと共に**お配り**します。どうぞ**ご覧**下さい。

【おまけ…**縦割り班活動**を紹介します】

特別活動の中の、同じ児童会活動でも、「**縦割り班**」の活動は、**異年齢集団**（年齢が多様な人の集まり）で、共に楽しく触れ合い、交流を図ることが活動内容です。「**ともに楽しく交流するためにはどうすればよいのか？**」が**解決すべき課題**となります。

先日は、6年生の発案で、**新型コロナウイルス感染症対策**を講じた上で「**縦割り色おに**」や「**ウォークラリー**」を行い、ともに楽しく、交流を図ることができました。うまくいかないことも、**次に生かすことでよい学び**となります。



←**ドッジビー**（柔らかいフリスビー状のディスク）を投げる「**輪くぐりチャレンジ**」です。うまくいくと**歓声**が起きていました。

**じゃんけん**で負けると、**足元の新聞紙が半分ずつ狭く**なります。新聞紙のおかげで**間隔が取**れています。→



**活動前に、間隔を取りつつ説明を聞き**ます。授業で習う、「**お話を黙って聞く**」を実践しているところ**です**。→



私たちに、

## 何かできることはないのか？

～新型コロナ感染症について学ぶ～

6年生の子どもたちは、今年度も、総合的な学習の時間で「地域医療」について学んでいます。今年度は、「現代的な課題」として、現在進行中の新型コロナ感染症に関する様々な課題をとらえ、自分たちで解決を試みる学習に取り組んでいます。

6/17(水)には、**浜田市の医療専門監様**を講師として、講義や質疑応答を通して、新型コロナウイルス感染症をはじめとするウイルスによる感染症に関わる知識について教えてもらい、「自分たちに何かできることはないのか？」と、考えていきました。

また、7/17(金)には、手作りマスク作成に挑戦しました。併せて、地域啓発として全員でポスターを作成しました。今後は、みんな代表として選んだポスターを地域に張り出させてもらおうと計画中です。



↑浜田市の新型コロナ感染症予防対策等、詳しく説明していただいたり、自分たちの疑問や質問に丁寧に答えていただいたりすることで、「学びを基に、自分たちに何かできることはないのか」と考え、マスクづくりや、ポスターづくりの学習につながりました。間もなく許可を取ってからポスターを張り出す予定です。(知識の習得→思考・判断・表現→技術の発揮や新たな技術の習得→実践活動という学びの流れができました。)



## ありがとうございます！！

～子どもたちの学習の支えとなって下さること、

感謝いたします。～

- 新型コロナ感染症予防に係る校内の消毒のために、アルコール消毒液の寄贈  
…**日本海酒造株式会社様**
- 手作り雑巾の寄贈  
…**JAしまねいわみ中央女性部の皆様**
- 交通安全意識向上のために、交通安全標語入り集金袋の寄贈  
…**JAしまねいわみ中央様**
- 「朝日小学生新聞」の寄贈  
(8/22 から更に1年間)  
…**近重勉税理士事務所 様**
- 児童の手洗い促進のために EM 石鹸の寄贈  
…**EM野の花 様**
- 子ども新聞「まなぶん」の寄贈  
…**山陰中央新報社様**

## 夏季休業中、どうかお気を付けて

お過ごしくださいませ

例年より短くなりますが、夏休み中も、**お子様や皆様の健康と安全**にお気を付けてお過ごしください。お盆期間(8/11～8/14)以外の平日は、学校には職員がおります。**何かあれば遠慮なくお知らせくださいませ。これからもどうぞよろしくお祈りします。**

(学校TEL0855-23-2400)